

知行合一

君がため 春の野に出でて 若菜つむ わが衣手に 雪はふりつつ
光孝天皇 (百人一首 15)

学校教育目標

潤いと輝きにあふれる学校

芦北町立田浦中学校
学校だより 第26号
令和2年2月14日
文責 校長 畑口益喜

全国いじめ問題子供サミット

1/25(土)、文部科学省で「全国いじめ問題子供サミット」が開かれ、IK生徒会会長とKM前会長が参加しました。

会場は文部科学省の講堂、全国から147名の児童生徒の参加、130名近くの引率者、文科省関係者や報道機関も入り、最後は文部科学大臣のあいさつがあるなど、めったに経験できない大舞台にさすがに緊張したそうですが、ポスターセッションとグループ協議で「私たちが考える『令和の時代のいじめ対策』」についてしっかり考えることができました。

全国の中학생から刺激を受け、学びの多いサミットだったとのこと。令和元・2年度熊本県教育委員会指定の「子どもたちによるいじめ防止推進事業」の取組にどんな形で反映させるか、執行部の取組が楽しみです。



☆サミットに参加した2人のメモを紹介します☆

- 個性を認め、人それぞれの価値観や考え方が違うということを全ての人が理解しなければいけない。「いじめの定義」で共通認識を持つことが大切である。
- クラスや学年内で素を出せる、自分らしくいられる(嫌なことは嫌とはっきり言える)環境や雰囲気づくりが大事。自分の気持ちを伝えることが大切。
- いじめにつながりそうな些細な「いじり」や「悪ふざけ」を周りの人が注意する。

○いじめに対するの考え方や感じ方は様々。相手の立場に立って考える想像力をつける。

○傍観者の数が圧倒的に多い。傍観者が変わればいじめをなくしたり、未然に防ぐことができる。

傍観者が行動することが大事。傍観者が被害者と加害者の架け橋になる。

※田浦小・田浦中の研究発表会は令和2年11月20日(金)の予定です。

新入生・保護者の皆さん、田浦中へようこそ

2/4(火)、入学予定者33名と保護者の皆様を対象に、新入生説明会を行いました。学校概要説明、執行部による生徒会活動の紹介、数学と英語の体験授業、部活動見学などの内容で、中学校がどんなところかを知っていただく機会になりました。

合同歓迎遠足や毎月の交流授業参観、あいさつ運動等の交流で中学校の先生とも面識があり、クラス替えもないとは言え、不安や緊張感はゼロではありません。

1・2年生は自分たちの入学時を思い出し、新入生を迎え入れる準備をしましょう。



たのうラッコ(田浦小・田浦中いじめ防止人権キャラクター)登場

2年生のMAさんの原案をもとに、3パターン(基本・怒り・悲しみ)の「たのうラッコ」が完成しました。集会や啓発活動等で活躍していきます。かわいがってくださいね。



【秘密の部屋】卒業式までちょうど1ヶ月。登校日数は卒業式を入れて20日間です。

【一生分】020206

子どもは小さいころに一生分の親孝行をするといいます。私が入吉二中に勤務していた27歳の時に長男が、30歳の時に次男が生まれました。8ヶ月くらいで保育園に通わせることになりましたが、二中の近くに保育園がありましたので、送り迎えは主に私の役目でした。また、妻は土・日は勤務の仕事でしたので、金曜日の部活動が終わった後、私が息子たちを田浦に預けに行き、土・日は田浦から部活に通い、日曜の午後に迎えに行くという生活でした。

入吉三中に異動してから、妻の転勤が急に決まりました。最初は単身赴任の予定だったのですが、毎晩9時頃に水俣に引っ越した当時5歳の長男から「おとうさん、なんでかえってこないの。」の電話。「わかった、今から帰るよ。」と水俣に向かう生活が続きました。帰宅した頃には、5歳と2歳の息子は熟睡していました。

そこで、私も5月に引っ越し、片道70分の道を通いましたが、毎朝5時半に出発する私を長男は早起きをして必ず見送ってくれていました。二生分、三生分の親孝行をしてもらいました。

中学生になると「あーいた、いっちゃん言うこつばきかん、はがいかよ。」となることもあるでしょう。親孝行はもう済んどるけん、しょんなかつです。(H)

【最後の～】020207

「最後の運動会、最後の中体連夏季大会、最後の文化祭、義務教育最後の1年間。今年は全てに『最後の』がつきます。」3年生がよく言う言葉です。今日、中学校生活最後の定期テストが終わりました。今回の「最後の」ばかりは名残惜しくないようです。

すでに私立高校の推薦入試等で1月下旬には進路が内定した生徒も少なからずいます。公立高校前期選抜受検者は来週の結果待ちでそわそわして勉強が手につきません。残りの多くの生徒も3月10日・11日の高校入試の範囲の学習に気持ちが向いています。採点者からは「最後の定期テストなのに気合いの入りが足りない。」という声もちらほら。

3年生と先生、両方の気持ちがよく分かります。わたしたちもそぎゃんでした。私から3年生へのアドバイスを一つ。「なんさま濁るけんいかん。最後(サイゴ)から点点ばとってから伸ばしてみろ。残り1ヶ月ばそぎゃんなるごつせろ。」

あーいた久しぶりにち～った良かこつば言うた。最後は最高。(H)

【そぎゃんこた言わんちゃよか】020210

田浦中学校の武道場の壁には「田浦中スピリッツ」の黄色い看板が掛けてあります。平成27年度卒業生が記念品として贈ってくれた物です。生徒はその看板を見ながら登校しています。

設置に来られた業者の方と面識がありました。2つ上の先輩、竹林公一さんでした。私の背が高かったからでしょう、40年ほど前の中学入学後に、全く面識のなかった竹林先輩から「男子バスケット部ば作るけん入れ。」と誘われていました。創部には至らず、私は5月頃にバレー部に入りました。バイタリティーがあり、かつ、自分より人のことを先に考える方です。高校でも生徒会長をされたと聞きました。お会いしたのは竹林さんの中学校卒業式以来でした。

それ以降、いろいろなお願いを快く引き受けていただきました。いつも、田浦中のことを気にかけていただいていたいました。平成30年度卒業生から贈られた、入学式と卒業式の立て看板も竹林さんが作られました。来年、「子どもたちによるいじめ防止推進事業」の研究発表会を行います。その看板や幟旗の制作も引き受けていただいていたいました。

ところで、2・1年生の体育服のゼッケンには名字がきれいに印刷されています。後輩のためにと竹林さんが自身でゼッケンを購入し、名前を印刷し寄贈された物です。

「紹介しますね。」と言ったところ。「恥ずかしか。たいしたこっじゃなかけん、そぎゃんこた言わんちゃよか。」「毎年作ってやっで。」とのお返事でした。これまで保護者には地域の方からと伝えてきました。

本当にありがとうございました。田浦中はたくさんの先輩方に支えられています。(H)